

令和 7 年 8 月 13 日

会 議 録

審 議 会 等 の 名 称	函南町水道事業審議会（第 1 回）
庶務を担当する所属	建設経済部 上下水道課
会 議 の 開 催 の 日 時	令和 7 年 8 月 6 日（水） 午前・ 午後 2 時
会 議 の 開 催 場 所	函南町役場 4 階 特別会議室
出席者（職・氏名）	函南町水道事業審議会委員 13 名 会長 幸野宗昭 委員 鈴木晴範、兵藤慎一、日吉智、仁科和晴、 室伏淳一、遠藤悦司、日吉章博、山下雅彦、 棚井俊彦、大木隆幸、井手尾達、杵寄賢 町長 仁科喜世志 建設経済部長 村上克司 上下水道課 課長 中村大 課長補佐 井野直樹、山田正和 係長 今井亨英、齋藤駿
議 題	諮問審議 上水道事業運営の検証及び水道料金について
審 議 内 容	資料に基づき、上水道事業の概要について、投資・ 財政計画（シミュレーション表）等により説明・質疑 応答。 委員 資料の人件費の中で職員 8 名とあるが、その内訳を 教えてほしい。 事務局 課長 1 名、課長補佐 1 名、水道工務係 3 名、料金業 務係 2 名の内訳となっている。 委員 課長は上水だけでなく、下水道についても携わって いるから、半分を下水道で負担するような考えはない か。 事務局 今回の審議会資料と、昨年度策定した経営戦略で は、課長の人件費は上水道から支出するという想定で

作成している。

委員

課長の人件費については検討してほしい。

有収率が 80%を下回っていて、類似団体の平均より低いが、有収率を上げる対策はどのようなものを実施しているか。

事務局

管路の布設替えについては、令和 2 年度に策定した管路更新計画に基づき進めている。また、更新計画にはない末端の方の漏水が頻発するようなエリアは、毎年少しずつでも布設替えを進めている。

委員

有収率が低いということはそれだけ無駄があるということなので、改善してほしい。水位計や配水の流量計も多くあることだろうから、どのエリアが低いか、わかるならばお願いしたい。

今回の料金改定方針案では内部留保資金を当年度の給水収益の 50%を保つとしているが、経営戦略では 5 億円近くを保っている。何か考えが変わったのか。

事務局

経営戦略は令和 6 年度に策定したものである。今回の審議会資料では改めて 6 年度の決算のほぼ確定の数値を入れたことと、昨今の物価高騰等を鑑みて建設改良費等にも細かく上昇率を設定してシミュレーションした結果、6 年度の経営戦略と比べてより厳しい状況となった。そのため、料金改定の負担を少しでも軽減させるため、内部留保資金の考えを変更している。

委員

次回の審議会では、経営戦略の 16～26 ページの各経営指標等の数値について令和 6 年度決算のものを用意してほしい。

事務局

承知した。

委員

参考資料 1 の令和 3 年 1 月 27 日の過去の答申書の中で、今後の水道事業経営についてコスト削減を図るなど経営努力をすることと書かれているが、具体的にどのようなことに取り組んでいるか。

また、給水人口が減少していくシミュレーションではあるが、増やす方法はないのか。例えば簡易水道を取り込むことはできないか。

事務局

コスト削減と同時に収益を増やす方法として、料金を払わない方に催告しているが、給水停止の方法もと

	り収益をしっかり確保するよう取り組んでいる。 町内には３つの公営の簡易水道があるが、それぞれ料金体系も異なり、すぐ実現するのは難しいものと考えている。 今日の意見をふまえた資料を事務局が用意し、次の審議会に諮っていく事で合意。 今後のスケジュールについて説明し、その他連絡事項を伝え、終了した。
備	考